
彼女はオバケ

DAMARU

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女はオバケ

【Nコード】

N4729J

【作者名】

DAMARU

【あらすじ】

彼女が飛び降りた。

オバケになっちゃった彼女との

ドタバタドキドキせつなストーリー！！

そこにいるのにふれない。
そこにいるからがんばれる。

あいさつ

「君が離れるなんて耐えられないよ…」
そう言って彼女は飛び降りた。

…オバケになった彼女と男の子のお話。
そこにいるのに…
ふれれない…

そこにいるから…
がんばれる…

ドタバタ、ドキドキ、せつな系

そんなお話。

毎日頑張って更新予定。初作。批評求む。基本脱線ストーリー。

他の方の作品を読んでもうちに
書いてみたくなりました…。

飽き性ですが頑張ります。

うん、誰か読んでみてね。

上手く書けるか不安です。。

ሕገመንግሥት

暖と海

『君が離れるなんて耐えられないよ…』

彼女は、振り向きざまに

今にも泣きだしそんな微笑みを浮かべながらそう告げた。

そして、

僕の視界から消えていった。

音もなく静かに…。

三日前。

『だん！。暇だよ！。』

いつもどおりの明るいつい。

『ならカラオケでもいく？！』

いつもどおりのデートの誘い。

きむらだん
木村暖
せきぐちうみ
関口海

の二人はいつもど通りの放課後。

周りは荷物をまとめ部活に向かう連中や、足早に家を目指す連中、友達と談笑している連中で騒がしい。

『カラオケいいねっ！今週三回目だけどさ』

海の笑顔を見るといつも笑顔になれる、。

藍色のブレザーとスカート。
が似合うきしゃな体。

肩までのセミロングの黒髪。

明るい声。

整った顔立ち。

そして、溢れんばかりの笑顔。

俺は海を好きになった。

この笑顔が俺を笑顔にしてくれる。

『あ……。会員証忘れたー！！昨日財布変えたときに抜いちゃった
ままだ……。』

暖はいつも少し抜けてるんだよね。

優しくて、面白くて。

なにより私を見てくれる。

そして、かっこいい。

クールな暖も、
いつも私には笑顔を見せてくれる。
それが嬉しいんだよ？

ほんとに暖といえるだけで笑顔になれるんだ。

昨日プレゼントしたお財布、早速使ってくれてるんだ。
嬉しい・・・。

『じゃあカラオケはダメだね。』
『そうだなあ・・・。じゃあマクチナルドでもいってダベるか！』
『結局このパターンだね』

笑いあう二人。

ほとんど人が居なくなつて静かになつた教室が二人の笑顔で包まれる。

夕方の空が映える窓からの優しいオレンジの光にのびる二人の影も
心なしか楽しそうに見えた。

そう、
この二日後に彼女はオバケになる。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4729j/>

彼女はオバケ

2010年10月8日23時44分発行